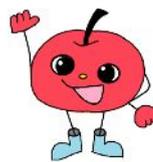




ひらもと

《目指す学校像》

ふるさとと共に、
一人一人が喜んで活動する学校
～強く、明るく、美しく～



鹿角市立平元小学校 TEL25-2204

平成29年11月2日 第17号

アップ君

学習発表会…大成功！



10月28日に開催した学習発表会には、多くの皆様にご来校いただき、子どもたちのステージ発表と作品をご覧いただきました。

今年の学習発表会テーマである、「スター☆～キラキラかがやくみんなの笑顔～」の通り、全校児童75名全員が輝き、演じる子どもたちも観ている会場の方々も笑顔になり、楽しいひとときを過ごすことができました。

大きな拍手をいただき、子どもたちは満足感と達成感に満たされているようでした。

ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご声援に心より感謝いたします。



毎年恒例！全校児童による表現 「平小ソーラン」



二部合唱に挑戦！全校合唱「気球に乗ってどこまでも」「歌よ ありがとう」



1年劇「おむすび にんにん パラダイス」



2年表現「どうぶつワンダーランド」



3年音読劇「じゅげむ」



4年音楽「めざせ！森のハロウィンライブ」



5年表現「平小 体カアップ ツアーズ」



6年劇「ぼくたちの鬼退治」

スポ少のがんばり

ご声援ありがとうございました。

○第22回鹿角ミニバスケットボールスポーツ少年団大会
10月21日にアルパスで行われました。

1回戦 平元 21 対 58 小坂
2回戦 平元 48 対 50 十和田



【優勝は小坂】

1回戦は、7月の鹿角ミニバス大会でも優勝した小坂小学校と対戦しました。終始相手ペースで試合が進み、なかなか自分たちの持ち味を発揮できませんでした。

2回戦は、この大会で準優勝した十和田小学校と対戦しました。第1クォーターから接戦を展開し、第4クォーター途中まではリードしていましたが、最後には逆転を許し、わずかに1ゴール差で敗れてしまいましたが、自分たちより身長が上回る相手チームに臆することなくリバウンドをがんばったり、粘り強いディフェンスを最後まで貫いたりするなど、一生懸命プレーする姿勢は本当に見事でした。また、7月に対戦したときは、21点差で敗れており、点差が大幅に縮まったことも、子どもたちの練習でのがんばりと上達ぶりを示していました。

この大会はもちろん、これまでのミニバス部での活動を通じて、たくさんの感動を与えてくれた子どもたちに感謝です。技術的にも精神的にも多くの成長が見られました。また、下級生をうまくまとめ、優しくリードする6年生が本当に素晴らしかったです。

今回も、応援団の人数と盛り上がりはピカ1でした。

先輩や地域の方々、在校生と保護者の皆さんもたくさん駆けつけてくださいました。ありがとうございました。

指導してくださったコーチの皆様、そして父母の会の皆様に感謝です。



チームワークは最高!

地域の方の力に感謝!

先日、館地区にお住まいの望月さんから、今年も立派な菊を寄贈いただきました。



また、同じく館地区にお住まいの倍賞さんからは、来シーズンに向けて学校農園と花壇の耕起作業をしていただきました。

地域の方々に支えられながら、子どもたちの教育環境がよりすばらしいものになっています。

本当にありがとうございます。



入賞おめでとうございます!

平成29年度人権標語コンテスト
秋田県大会大館地区予選

(H29.10.31)



優秀賞 6年 豊田

「遊びでも 心傷つく その言葉」

豊田さんの標語を含めて、鹿角、大館、北秋田の入賞者13名の標語が、秋田県大会に推薦されました。

いずれも人権の大切さを感じさせる秀作ぞろいですので、他の作品も紹介します。ご家庭でも親子で確認し合ってはいかがでしょうか。

同じじゃない みんながみんな オンリーワン
目を見よう 相手の気持ちは 見えるかな
ちいさな手 手助けすれば 大きな手
さりげなく ゆずった席の 温かさ
障害は みんなの理解で なくなるよ
かっぱせ いじめや差別 遠くまで
変じゃない ちがうからこそ かがやける
ストップ! ぎゃくたい 未来へつなごう 小さな命
命とは 神様がくれた 一人一人への贈り物
いじめゼロ 初めの一步 思いやり
声に出そう 心の中の ありがとう
優しい言葉 言えば言うほど 花が咲く



あきた教育の日

11月1日は、「あきた教育の日」です。平成20年9月10日に施行されました。そのため、10月～11月にかけて、県内各地では教育に関する様々な行事が行われております。学習発表会や鹿角音楽祭も、ちょうどこの期間に実施されており、意義深いことでもあります。趣旨は次のとおりです。

県勢発展の原動力は「人」であり、「人」は財産である。その「人」づくりは教育が担っていくものである。このため、県民一人ひとりが教育に関心を持ち、また、学校、家庭、地域、企業などが連携・協力しながら子どもたちを育てていくという共通の認識に立って、教育立県をめざすために力強い教育を推進していく必要がある。子どもたちがやがて、県内外で秋田の発展を支える「人」となることを願い、「あきた教育の日」を設ける。



情報

○4・5年生りんご・米販売体験
日時：11日(土)10:30～12:00
場所：東北自動車道花輪サービスエリア(上り線)

4・5年生が、ふるさと教育・キャリア教育の一環として行います。十和田から盛岡方面に行かれる方はどうぞお立ち寄りください。